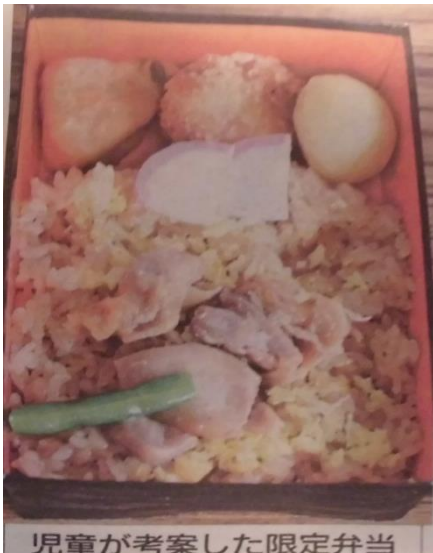


「鶏めし弁当」児童考案 大館アメッコ市で販売

桂城小と花善がコラボ



児童が考案した限定弁当

大館市のおおまちハチ公通りを主会場に8, 9日に開催される小正月行事「大館アメッコ市」で、同市の桂城小学校の児童が弁当製造「花善」とコラボして開発した限定弁当が販売される。3日は同校で試食会が行われ、児童が味を確かめた。

限定弁当は同社の鶏めし弁当をアレンジしたもの。同校のふるさとキャリア教育として、2016年度からアメッコ市に合わせて行っている。今年は6年生45人が「大館の良さ再発見・環境に優しい」をテーマに、具材や掛け紙(包装紙)を考案した。

オリジナルの具材は地元食材にこだわり、サトイモとエダマメを使ったもちやコロッケ、リンゴとナシのパンケーキが並んだ。プラスチック製のおかず入れを使わなくても済むように、煮崩れの心配がなく、汁が出ないようなメニューとした。

児童が手がけた掛け紙は4種類。秋田犬や大文字で知られる鳳凰山などが描かれ、「大館のいいところがたくさん詰まったお弁当」との紹介文も添えられている。

出来上がった弁当を味わった張云博さん(12)は「どれも鶏めしに合うおかずでおいしかった。アメッコ市では完売できるよう接客などを頑張りたい」と話した。



児童が描いた掛け紙

花善の高橋匡平部門長は「子どもたちの知恵と労力が詰まった弁当に仕上がった。アメッコ市には県内外から多くの方が来るはずなので、お弁当を通じて大館をPRできれば」と期待した。

弁当は1個650円で、限定2025個。アメッコ市会場で両日とも午前11時から販売する。桂城小の児童は両日の午後1時半ごろまで接客や販売を担当する。

売り上げの一部は、昨年7月の記録的大雨で被害を受けた上小阿仁村へ義援金として寄付される。

弁当はあす5日から予約を受け付け、予約分は大館駅前の花善の店舗でも販売する。

予約、問い合わせは同社

☎0186・43・0870

(間杉大旗)

(令和7年2月4日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)



出来上がった弁当を味わう児童